

授業科目名	漢文学概論 A	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期 (4月9日～7月31日)
学部・学科等	人間文化・発達教育	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	未定
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	作新学院大学
担当教員名	玉城 要		
電話番号(代表者名)	028-667-7111	e-mail アドレス	
オフィスアワー	授業終了時に面談の予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt; この授業では、日本語、日本文化とも深い関わりのある漢字・漢語・漢文についての基本的な知識の習得を目指します。特に以下の事柄について理解し、中学生、高校生はもとより小学生にでも説明できるような知識と方法を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の発生と歴史的变化</li> <li>・漢字の音読みと訓読みの違い</li> <li>・日本の漢字における旧字体と新字体の違い</li> <li>・熟語の構造</li> <li>・訓点の種類とその機能</li> </ul> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt; このシラバスに書かれている事柄を読んで理解できるだけの日本語力があれば十分です。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt; 授業の進め方についての基本型は以下の通り。 ア：授業者（玉城）は、時間割上の授業時間中にノートパソコンを携帯して教室に常駐し、インターネットへの接続を維持する。 イ：学生は、インターネットに接続し、WebClass 上の資料に基づき学習を進め、指定された期限までに「課題」を提出する。 ウ：ア、イの活動を以って、一回の授業における学習は「完了」とする。</p> <p>&lt;授業計画&gt; 第1週 漢文とは何か。なぜ漢文を学ぶのか？ 第2週 文字の発生と文字神話 四つ目？の蒼頡 足跡から何かが見える？ 第3週 漢字のうつりかわり① 甲骨文から金文へ 古代人と古い・文字の関係 第4週 漢字のうつりかわり② 字体の統一と整理 その1 始皇帝の功罪 第5週 漢字のうつりかわり③ 字体の統一と整理 その2 科挙と楷書の整理 第6週 漢字のうつりかわり④ 日本の漢字の旧字体と新字体 第7週 漢字の構造① 最古の字書『説文解字』の世界 第8週 漢字の構造② 「六書」のはなし 第9週 漢字・漢語の三つの特色 第10週 日本における漢字と漢語① 「音」について 第11週 日本における漢字と漢語② 「訓」について 第12週 身のまわりに息づく漢字・漢語 ～ 漢字・漢語と戯れる ～ 「複雑」なのか「豊かさ」なのか 第13週 漢文訓読の基本 ～ 漢語の構造 ～ 中国語の古典を日本語に直して読むために①－1 熟語の構造 第14週 漢文訓読の基本 ～ 漢語の構造 ～ 中国語の古典を日本語に直して読むために①－2 返読するとは？ 読まない字とは？ 第15週 「漢和辞典」は何のための辞典か？ &lt;教科書・参考書・教材と入手法&gt; 教科書は使用しない。PowerPoint で作製したスライド資料の pdf ファイル（音声、動画は含まない。話ことばを意識した文字主体の資料とする）を提示する。必要に応じて Word で作製した資料の pdf ファイルを提示する。 &lt;成績評価法&gt; 秀：毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて期限内に提出し、その解答が正確でほぼ不備がなく、かつ自身の見解や、調べたことがらなどが追記されている場合。 優：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に8割以上提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない。 良：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に7割以上8割未満で提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に6割以上7割未満提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 不可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に4割以上6割未満の提出しかなくない場合。 無資格：上記、いずれにも該当しない場合。 &lt;教員からのメッセージ&gt; 好き、嫌い、に関係なく、身の回りにあふれる漢字・漢語に興味を持つと、ちょっと人生が豊かになるかもしれません。</p>		